

掘りだそう、自然の力。

Calbee

カルビーグループ決算説明会

2021年3月期第1四半期

2020年4月1日～2020年6月30日

TSE code : 2229

カルビー株式会社

2020.7.30

2021年3月期第1四半期業績

掘りだそう、自然の力。



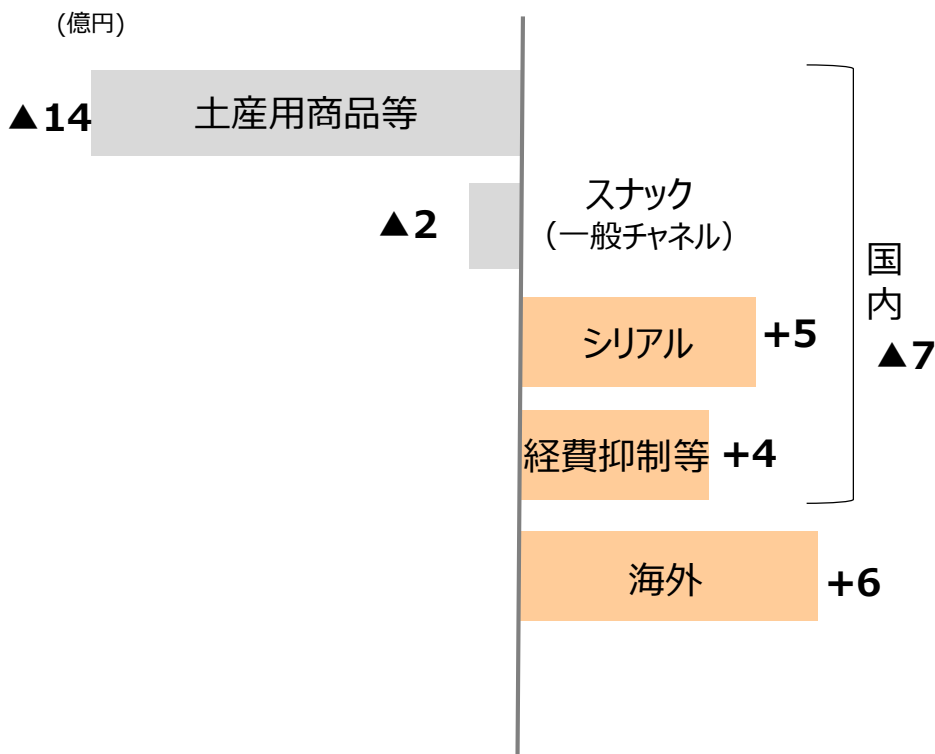
決算サマリ 対前年同期

- **売上高**
 - <国内> 国内既存事業(※)は、土産用商品の売上減少により減収
 - <海外> 中華圏Eコマース販売拡大、北米Warnock社が増収に寄与
 - **営業利益**
 - <国内> 利益率の高い土産用商品の売上減少で減益
 - <海外> 増収効果等で増益
 - **特別損益** 新型コロナウイルス感染拡大の影響により生じた土産用商品の処分や直営店休業期間の費用等を特別損失に2億円計上
- (※)国内既存事業 = ポテトがいくつか除く国内事業

	2020年3月期 第1四半期実績		2021年3月期 第1四半期実績		伸び率 (%)
	(億円)	売上高比(%)	(億円)	売上高比(%)	
売上高	619	100.0	644	100.0	+4.0
国内 (国内既存事業)	515 (515)	83.2 -	515 (501)	79.9 -	△0.1 (△2.8)
海外	104	16.8	129	20.1	+24.0
営業利益	65	10.4	66	10.2	+1.6
国内	61	-	56	-	△8.7
海外	3	-	9	-	+202.5
経常利益	61	9.8	64	10.0	+5.7
特別損益	△0	-	△1	-	-
当期純利益	42	6.9	41	6.3	△4.6

国内シリアル・海外事業の需要増加、国内外の経費抑制がプラスに寄与するも、利益率の高い土産用商品の需要減のマイナス影響が大きい

新型コロナウイルスによる
営業利益への影響（前年比較）



<国内>

- (-) 「じゃがポックル」等の土産用商品、直販店の売上が大幅減少
- (-) 国内スナックは、巣ごもり需要で低価格帯や大袋等に需要が集中し、供給調整を実施
- (+) 前期第4四半期以降、シリアル需要の強さが継続
- (+) 経費の抑制やリカバリー策（Eコマースにおける土産用商品の販売等）の実施

<海外>

- (+) 中華圏Eコマースでの売上増加
- (+) インドネシアは輸入原材料遅延で売上減少も販促費を抑制

決算サマリ 対計画

- **売上高** 土産用商品等の減少は想定通りも、供給調整を実施した国内一般チャネルの
スナックの影響により、計画未達
- **営業利益** 海外事業（中華圏Eコマース拡大、インドネシアでの販促費抑制等）の貢献により
計画を上回る

(億円)

	通期計画 ※新型コロナウイルスの 影響を含む	2021年3月期 第1四半期 計画	2021年3月期 第1四半期 実績	計画差	計画比
売上高	2,700	657	644	△13	98.0%
国内	2,166	529	515	△14	
海外	534	128	129	+1	
営業利益	245	60	66	+6	109.2%
国内	237	58	56	△2	
海外	8	2	9	+8	

2021年3月期第1四半期業績 国内事業

掘りだそう、自然の力。

Calbee

(億円)

	2021年3月期第1四半期		
		前年同期比	
国内売上高	515	△0.3	△0.1%
スナック	413	△32.9	△7.4%
ポテトチップス	195	△6.6	△3.3%
じゃがりこ	79	△14.6	△15.7%
じゃがポックル	2	△12.0	△84.5%
上記以外スナック	138	+0.3	+0.2%
シリアル	80	+17.6	+28.4%
(うち海外消費向け)	(8)	(+4.5)	(+152.8%)
その他食品 (甘しょ・馬鈴しょ) ※ポテトかいつか含む	18	+15.3	+535.9%
国内営業利益	56	△5.3	△8.7%
(営業利益率)	(10.9%)		(△1.0pts)

スナック

家庭内消費向けや低価格帯・大袋等の商品へ需要がシフト

ポテトチップス：新型コロナ拡大後の消費動向の急変への対応が難しく、一時的に供給調整（休売）を実施

じゃがりこ：外出・オフィス等の需要が減少し、販売低調

その他スナック：サッポロポテトやポップコーン等のスナックが好調

じゃがポックル他

インバウンド・国内旅行者等の減少により

土産用商品は減収（前年同期比△25億円）

シリアル

巣ごもり需要により、定番品を中心に好調が継続

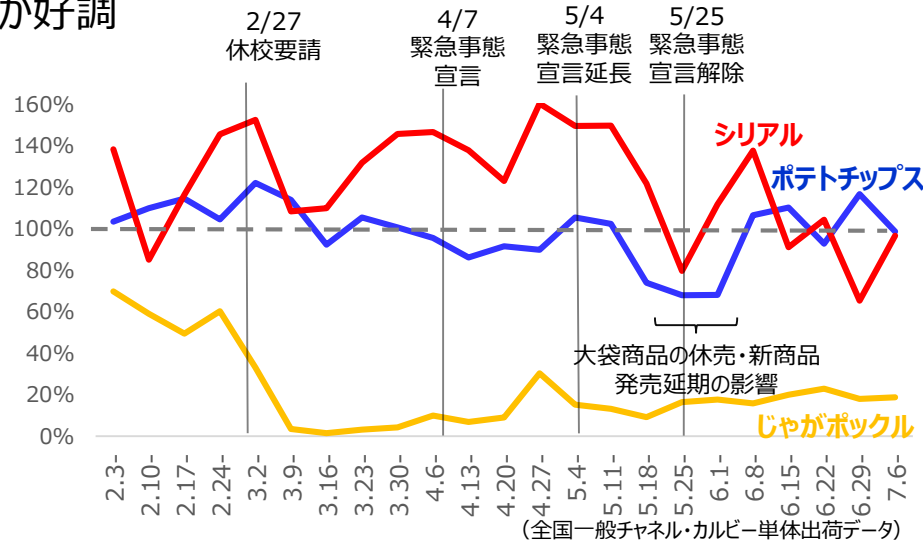
- ・ 定番品「フルグラ」（前年同期比+4億円）
「フルグラ糖質オフ」（前年同期比+3億円）
- ・ 輸入原材料のココナッツ不足に対応し、定番品の代替品として「フルグラあっさりテイスト」を発売
- ・ 携帯できるシリアル新品「カルビッツフルグラ」を全国発売開始も低調なスタート

ポテトかいつか

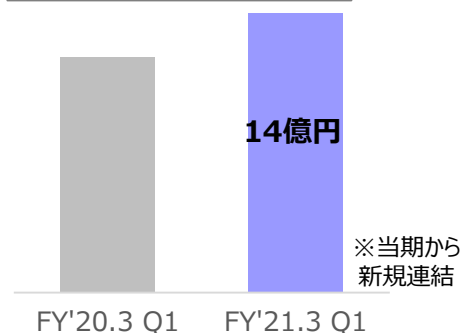
焼き芋に適した糖度の高い“ねっとり系”のさつまいも「紅天使」

（かいつかオリジナルブランド）の卸売が伸長

国内製品別売上高（前年同期比）



ポテトかいつか 売上高



2021年3月期第1四半期業績 海外事業

掘りだそう、自然の力。

Calbee

(億円)

<地域別業績>	2021年3月期第1四半期			
		前年同期比		為替影響を除く実質伸び率
海外売上高	129	+25.0	+24.0%	+29.5%
北米	35	+12.7	+56.3%	+59.6%
中華圏	40	+12.4	+44.4%	+49.8%
英国	16	+1.3	+9.2%	+15.8%
インドネシア	9	△3.4	△28.7%	△22.7%
その他	29	+2.0	+7.3%	+14.2%
海外営業利益 (営業利益率)	9.5 (7.3%)	+6.4	+202.5% (+4.3pts)	—
北米	1.1	+1.3	—	—
中華圏	4.8	+3.1	—	—
英国	0.2	+0.1	—	—
インドネシア	△0.6	+0.8	—	—
その他	4.0	+1.1	—	—
<製品別売上高>				
スナック	110	+20.3	+22.7%	—
シリアル 海外実質消費 (うち国内売上高に含む海外消費)	27 (8)	+9.3	+52.0%	—

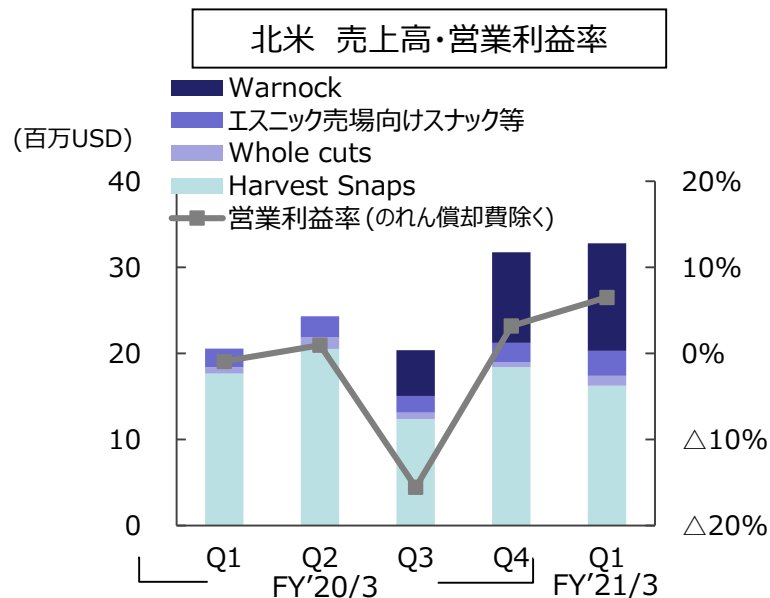
北米

■ 売上

- Warnock社はストアブランド（PB）の受注が好調に推移
- 既存事業（Calbee North America）は減収
（前年同期比*△1.2%）*現地通貨ベース
 - 「Harvest Snaps」は、販促機会が減少し、需要低迷
 - エスニック売場向け売上（ポテトチップス、かっぱえびせん、じゃがりこ、フルグラ）は伸長

■ 営業利益

販促費の抑制とWarnock社の貢献により増益



中華圏

■ 売上

<シリアル>

- ECコマースでの販売好調、大型セールイベント“618”での販促実施
- 中国小売店舗向けも伸長

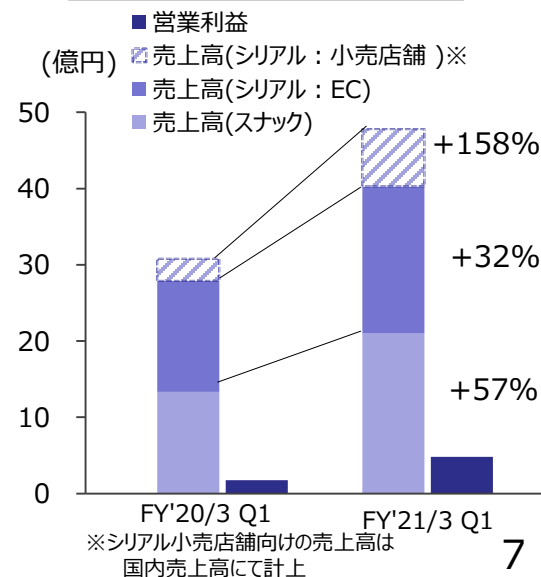
<スナック>

- ECコマースでの「じゃがポックル」等の販売拡大

中華圏シリアル売上高・チャネル別 (億円)

	2021年3月期 第1四半期		
	2021年3月期	前年同期比	前年同期比
EC	19	+4.7	+31.9%
小売店舗※	8	+4.6	+158.4%

中華圏 業績



■ 営業利益

ECコマースでの増収効果

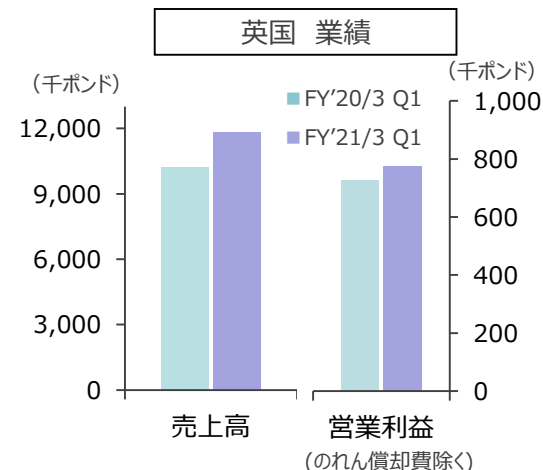
英国

■ 売上

Seabrookブランドポテトチップス定番品のマルチパックが好調

■ 営業利益

マルチパック売上構成比の上昇により原価率は悪化し、
営業利益は7%増（現地通貨ベース/のれん償却費除く）に留まる



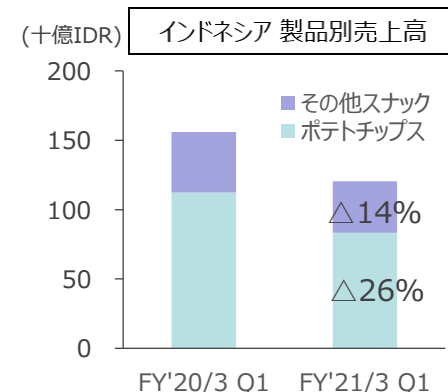
インドネシア

■ 売上

新型コロナウイルスの影響で、輸入原材料馬鈴芋の調達遅延等が生じ、ポテトチップス生産高が減少（6月には解消し、売上回復）

■ 営業利益

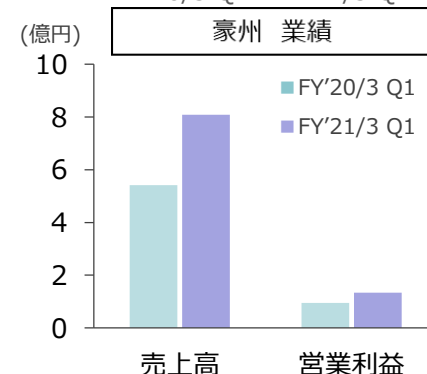
販促費の抑制により増益



その他地域

豪州 売上高 8億円（前年同期比 +49%） 営業利益 1億円

- ・Harvest Snapsのニュージーランドへの販売拡大
- ・Jagabee (Golden Chipees) も好調



(億円)

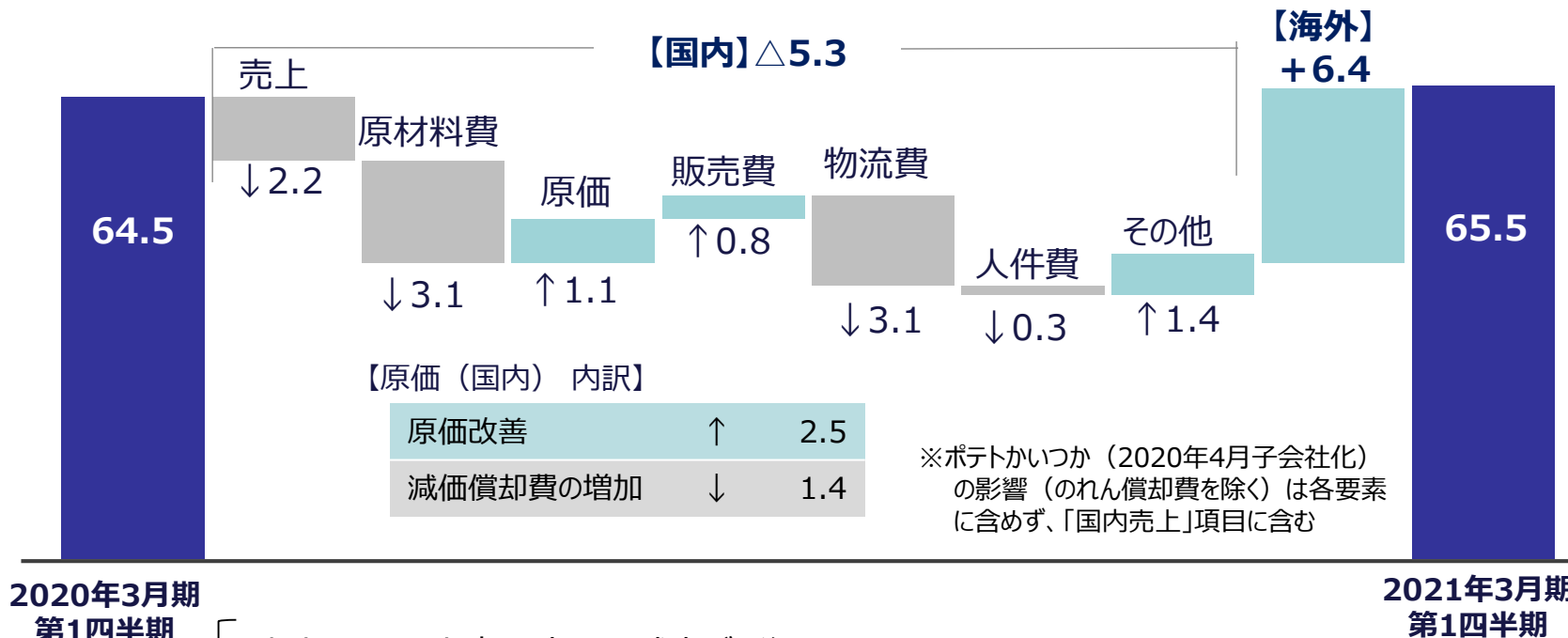
増益要因

減益要因

営業利益の増減（前年同期比）

国内△5億：新型コロナウイルス影響△7億（P2参照）による

海外+6億：中華圏Eコマース等での増収効果、北米・インドネシアでの販促費抑制



【国内】

- 売上：土産用商品の減少が影響
- 原材料費：馬鈴しょ品質悪化
- 原価：土産用商品含むスナックの生産性悪化があったが、価格改定効果により改善
- 販売費：販促費、広告費の減少
- 物流費：運賃の上昇、国内スナックの売上減による積載率の悪化
- 人件費：賞与戻り影響は前期並み
- その他：旅費交通費等の経費抑制

参考資料

連結損益計算書

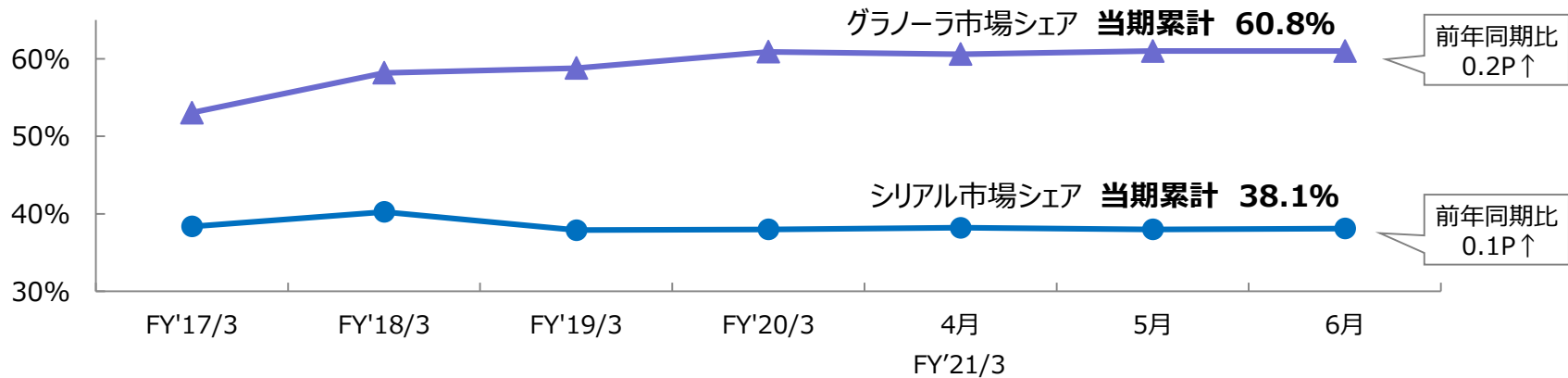
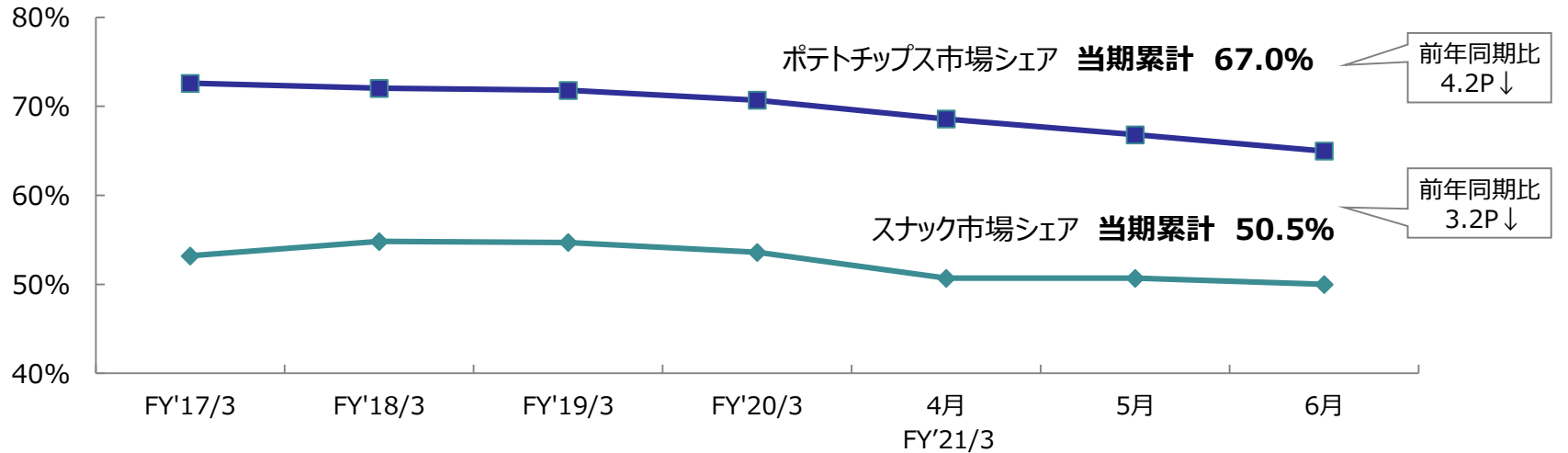
掘りだそう、自然の力。

Calbee

	2021年3月期第1四半期			2021年3月期 計画 ※2020/5/14公表値			
		構成比 (%)	前年同期比 (%)	計画比 (%)		構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	64,385	100.0	+4.0	98.1	270,000	100.0	+5.5
売上総利益	28,260	43.9	+2.3	99.2	119,400	44.2	+3.8
販売管理費	21,707	33.7	+2.5	96.5	94,900	35.1	+8.6
販売費	9,582	14.9	△1.7	94.0	43,400	16.1	+6.3
物流費	4,876	7.6	+7.5	101.8	19,800	7.3	+7.6
人件費	4,551	7.1	+4.8	98.3	19,700	7.3	+9.8
その他	2,697	4.2	+5.9	93.3	12,000	4.4	+17.4
営業利益	6,552	10.2	+1.6	109.2	24,500	9.1	△11.4
経常利益	6,415	10.0	+5.7	109.1	24,000	8.9	△12.4
特別損益	△129	-	-	-	△500	-	-
当期純利益*	4,050	6.3	△4.6	106.6	15,700	5.8	△10.5

*親会社株主に帰属する当期純利益

■ 国内市場シェア*



* 出所：(株)インテージSRI 全国全業態 金額ベース
 当期累計：2020年4月～2020年6月
 前年同期：2019年4月～2019年6月
 FY'17/3-FY'21/3：2016年4月～2020年6月
 スナック市場シェア：カルビーとジャパンフリトレーの合計
 ポテトチップス市場：ポテトチップス(生薄切り・生厚切り)・ポテトシュースト・ケトル合算、非公開PB含む

本資料に関するお問い合わせ：

カルビー株式会社 IR部

E-mail：2229ir@calbee.co.jp

<https://www.calbee.co.jp/ir/>

- グラフ上の事業年度表記はFY(Fiscal Year)を用いています。FY2021/3(FY'21/3)は2021年3月期を指しており、他の事業年度も同様に表記しております。特にその指定がない表記は、暦年を表しています。
- 本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。